

# 家庭のこと、仕事のこと、未来のこと。

夕方7時に家族みんなで  
夕食を囲む方法

講師 ● 瀬地山 角さん (東京大学教授)

## 子育ては男にもできる!

私の家族を紹介すると、日本人3人、韓国人3人、アメリカ人1人。いったいどんな家族? と思われるでしょう。種明かしをすると、私のパートナーは韓国籍の在日3世で、第一子は私の留学先(ハーバード大学)のアメリカで生まれたので日本・韓国・アメリカ籍を、第二子は日本で生まれたので日本・韓国籍を持つためです。

当初、アメリカ留学には単身で行く予定でした。パートナーは企業でフルタイムで働いており、休職できる制度がなかったのです。ところが、これ以上ないというタイミングで、子どもが生まれることがわかり、彼女の産休と同時に2人で渡米し、出産を経て育児休業が終了すると同時に親子3人で帰国することができました。

アメリカでは立ち会い出産でした。日本では特別視する人もいますが、アメリカでは立ち会いが当たり前です。確かに自分の子どもが生まれるのに父親がドアの外で待っているほうが不自然に感じます。

出産は女性にしかできませんが、子育ては男性にもできます。子育てが女性の役目とされてきたのは、歴史上の経緯や社会的規範からです。生物学的な性差ではなく、人によって決められた性差なら変えていくことができる、というのがジェンダーの考え方です。



夜中に子どもが泣くと女性は母性があるから自然と目が覚めるという説は、必死に起きているパートナーを見て、単なる神話だと確信しました。我が家ではむしろすぐに起きるのは私のほうで、夜中の授乳はほとんど私の仕事でした。

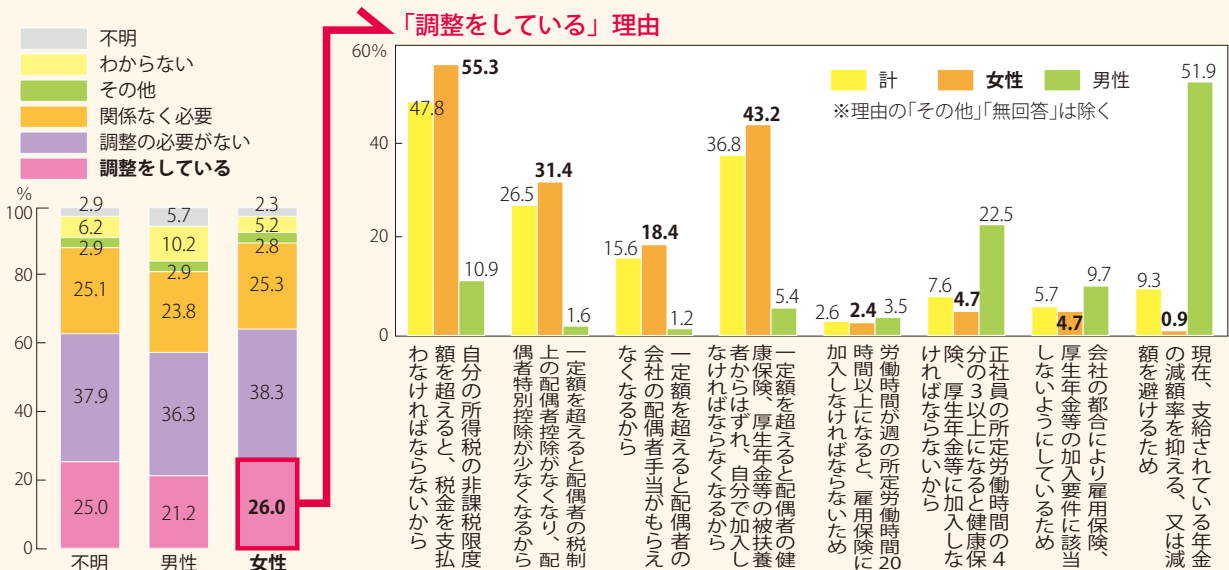
## 子どもを父親に任せてみて

とはいえ、子育てはやはり大変でした。まず往生したのが保育園探しでした。第一子は9月入所ということもあり、いろいろ探し回った結果、私の職場の東大内にある保育園に預けることになりました。

保育園の送迎は議論の余地なく私の役目となり、結果、早く帰ることになり、その流れで夕食も私の担当となりました。夜、友人と飲みに行くこともなくなり、一時は育児ノイローゼ状態になったこともあります。しかし、生まれたときか

## 働けるのに働かない女性

現行の税制・社会保障制度は、女性の就業等の選択に影響を与えている。



DATA 2 パートタイム労働者の就業調整の有無とその理由 (男女別)

【男女共同参画白書 平成24年版】より作成